

(学年) 第1学年, (教科・科目) HR活動・人権教育

協働学習

(単元) インターネット上の人権問題について考える

(ICT活用方法)

画像や動画を電子黒板に投影し, 資料を可視化・共有化することにより授業効果を高める。

(本時のねらい)

- ①インターネットの使い方を誤れば, 人権侵害につながるということを理解させる。
- ②インターネットの誹謗中傷に関する記事や動画等を見て, インターネットを利用する際の注意点を考えさせる。(グループワーク)

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・事前アンケートの結果から, インターネットの利用についてクラスメイトがどのような考えを持っているかを確認する。	・事前アンケートから, インターネットには多くの問題が潜んでいるということを理解させる。また誹謗中傷に関する問題について関心の高い生徒が多いことについて触れる。	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフを見て, インターネット上での誹謗中傷の現状について知る。また「誹謗中傷」の与える影響を理解する ・訃報の記事を見て, 問題点を考える。(個人) ・考えた問題点をグループで共有し, ホワイトボードに記入して発表する。(グループ) ・主人公がインターネット上で 	<ul style="list-style-type: none"> ・誹謗中傷に関するグラフを示し, 誹謗中傷による人権侵害が後を絶たないことを理解させる。また「批判」と「誹謗中傷」の違いについて考えさせる。 ・事例をもとに, インターネット上の誹謗中傷の恐ろしさを理解させるとともに, なぜ書き込むのか, についてを考えさせる。 ・グループごとに発表させる。利用方法を誤れば誰もが加害者になり得るということを認識させる。 ・動画を見せ, 誹謗中傷をしてしま 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフト, 電子黒板, 教員端末を利用して可視化する。 ・電子黒板と教員端末を利用して可視化する。

	<p>誹謗中傷を行う動画を見て、その心理や問題点を考える。 (個人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時を通し、インターネット上で人権侵害を起こさないための心がけや利用方法を考え、まとめる。(個人) ・個人の考えをグループで共有し、意見をまとめて発表する。 (グループ) 	<p>う心理や問題点を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誹謗中傷について様々な問題点を考えた上で、自分には何ができるのか、インターネット利用時にどのようなことを心がければよいのか等を考えさせる。 ・各グループで話し合いを行い、意見をまとめるように促す。 	
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめと次時の学習を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誹謗中傷などの人権侵害を起こさないために私たちにできること等をまとめ、これからのインターネットの利用の際に実践するよう働きかける。 	

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

インターネット上の人権問題について、SNSでの誹謗中傷を取り上げて授業を行った。

SNSという点や、訃報の記事を用いたことにより、生徒たちが身近に感じ、共感しやすかったのではないかと感じる。また、ICTを用いて画像や動画を映し出し、視覚的に訴えたことで、誹謗中傷の与える影響を効果的に伝えることができた。実際にグループワークやワークシートでの意見をみると、様々な立場に立って誹謗中傷について考えることができていた。生徒は主体的に授業に臨んでいた様子が見られた。